

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成28年度第3四半期（平成28年10月～12月）

1. 治安情勢

- マハラシュトラ州タネ市出身の男が I S I L に参加
タネ市出身の男がサウジアラビアでの出稼ぎの際に知り合った男と共にエジプト・リビアを経て I S I L に加わったことが判明した。同人は、一緒に I S I L に参加した男とここ数年緊密にやり取りしていたが、治安機関はこの事案を不法活動防止法違反で起訴し、現在も捜査中である。
- グジャラート州の観光名所の寺院に対する爆破予告
グジャラート州の観光名所の一つであるサムナス寺院に対し、インディアン・ムジャヒディンを名乗るものから爆破予告があった。治安機関はハイ・アラートを発出し、警戒を強化するとともに捜査を開始した。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

ア 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

イ 強盗

10月某日、ゴア州を旅行中の20代中盤の女性がインド人を名乗る男に声を掛けられ一緒にファーストフード店に行った際、男が注文した飲料を飲んだところ意識朦朧となり、所持品を窃取されるという昏睡強盗事件が発生した。

ウ 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6. 犯罪統計

ムンバイ市警察本部は、2016年1月1日から12月31日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

○ 殺人	144件	（前年同時期対比	-14件）
○ 強盗	745件	（同	-95件）
○ 傷害	4、506件	（同	-105件）
○ 恐喝	228件	（同	-25件）
○ 強姦	712件	（同	+2件）
○ 窃盗	9、833件	（同	-587件）

○ チェーン・

スナッチング(※) 443件(同 ー466件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

各罪種で総じて減少傾向であるが、特に窃盗の認知件数が大きく減少した。また、ムンバイ警察が対策を強化したチェーンスナッチングについても同様に大幅減少となったが、報道では未だチェーンスナッチングの被害に関する記事が散見されるので注意が必要である。

今期(10月)も、日本人旅行者が現地でインド人らしき人物に声を掛けられ、一緒に食事した際に提供された飲み物を飲んだ後に昏睡し所持品を摂取される事案が発生した。同種の事案は過去にも数件発生していることから、見知らぬ人に誘われても一緒に食事しない等、自己防衛のための十分な注意が必要である。